MITSUBISHI

特定保守製品

※法定点検が必要な製品です。

0907874HH8702

三菱＜24時間換気機能付＞バス乾燥・暖房・換気システム

形 名

V-122BZ（2部屋用）（100V）
V-123BZ（3部屋用）（100V）

バスカラット24
三菱24時間バス乾燥・暖房・換気システム

V-122BZL（2部屋用）（100V）
V-123BZL（3部屋用）（100V）
V-123BZL-HC（3部屋用）（100V）
V-222BZL（2部屋用）（単相200V）
V-223BZL（3部屋用）（単相200V）

据付説明書

販売事業者・据付事業者さま用

■本製品は消防法基準適合品です。

■本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。

■設置を始める前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
電気工事は、販売事業者・据付事業者さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。
（お客さま自身で設置しないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています）

本製品の設置にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。（本製品は（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

設置が終わりましたらお客さまに、操作方法をよく説明してください。

特定保守製品に関するお願い

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。

■特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者様は点検期間に点検を行う（有償の法定点検）などの保守を行うことが求められている製品です。

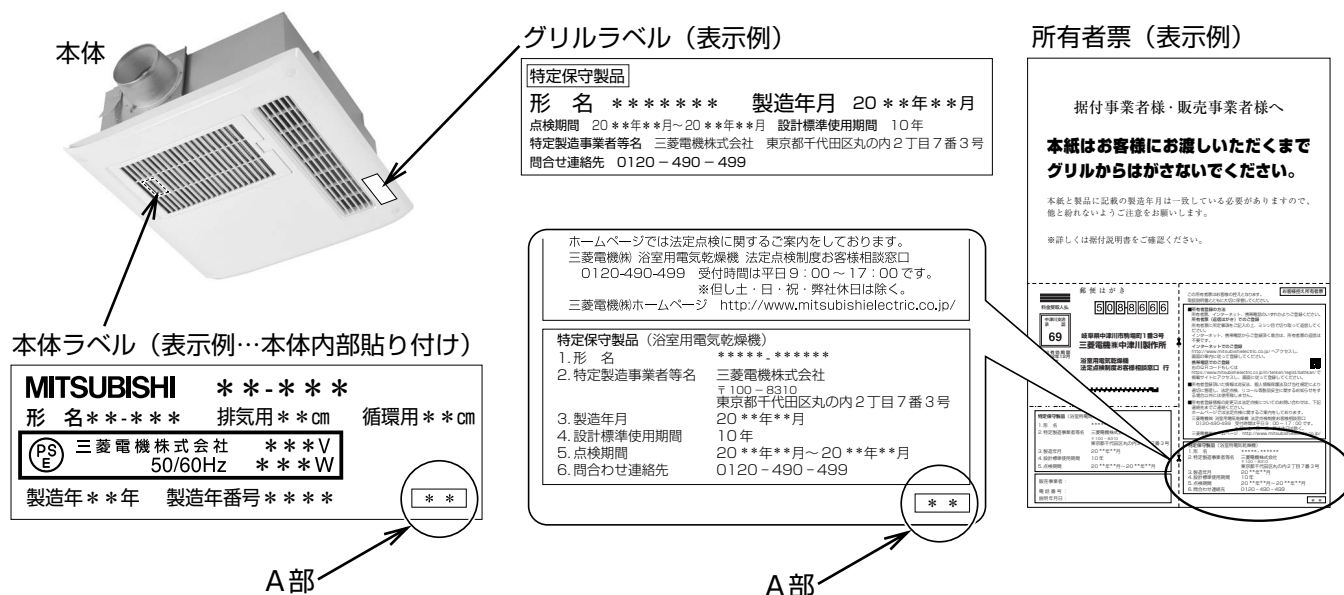
■消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者様は、製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対して、所有者情報を提供する責務（消費生活用製品安全法第 32 条の 8 第 1 項）が定められています。

もくじ

特定保守製品に関するお願い　つづき

据付事業者様へ

■本体とグリルと所有者票の製造年月を合わせる為下記の確認を行って設置をお願いします。
1）本体ラベル、グリルラベルと所有者票の「形名」が同じであること
2）本体ラベルと所有者票の「Ａ部」が同じであること
3）所有者票とグリルラベルの「製造年月」が同じであること

■所有者票はグリルにテープで貼り付けてあります。設置が完了するまでグリルに貼り付けたままとしてください。

■別冊の取扱説明書は所有者様用ですので、必ず所有者様にお渡しください。

販売事業者様へ

■付属の取扱説明書と所有者票（グリルに貼り付け）は、所有者様（消費者様、賃貸業者様）に必ずお渡しください。

■グリルラベルと所有者票に記載されている「形名」「製造年月」が不一致にならないように所有者様にお渡しください。

■所有者様（消費者様、賃貸業者様）に対し所有者票に記載されている法定説明事項をご説明いただく義務（消費生活用製品安全法第32条の５第１項）と、所有者情報の提供にご協力いただく責務（消費生活用製品安全法第32条の８第３項）が定められていますので、ご協力をお願いします。

1.安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

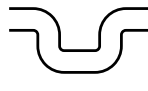
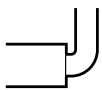
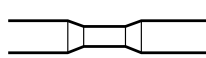
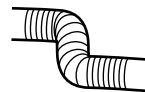
警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 禁止	**内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因
 水ぬれ禁止	**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショートや感電の原因
 分解禁止	**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因
 指示に従う	**本体はネジを使って確実に固定する** 落下によりけがの原因
	V-122・123 タイプ：100V を使用する **V-222・223 タイプ：単相 200V を使用する** 間違った電源を使用すると火災や感電の原因
	金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける **〔電気設備の技術基準　解釈　第 167 条３項〕** 接続されていると漏電した場合火災の原因
 アース確認	**アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける** 故障や漏電のときに感電の原因

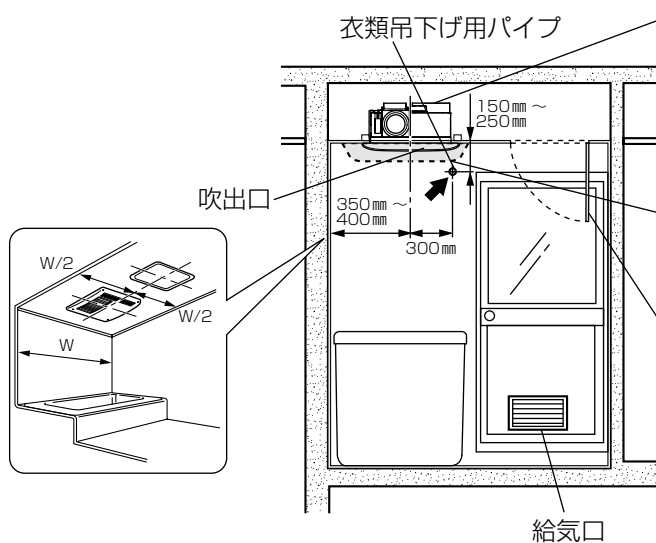
注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
 禁止	**浴室内にコントロールスイッチを取付けない** 故障の原因
	直接炎のあたるおそれのある場所には取付けない 火災の原因
 指示に従う	**本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける** 落下によりけがの原因
	電源電線の接続は確実に行う 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因
	電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因
	部品の取付けは確実に行う 落下により、けがの原因
	取付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因
	取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因
	トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

お願い

- **つねに高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。**
  高温では、サーモが働きヒーターが通電しません。
- **温泉の浴室やプール等で使用しないでください。**
  故障の原因となります。
- **スチームサウナ付の浴室では使用しないでください。**
  故障の原因となります。
- **本体を断熱材等で覆わないでください。**
- **浴室内にはコントロールスイッチを取付けないでください。**
- **この製品は浴室の天井取付け専用です。標準適応サイズは V-122・123 タイプは 1.0 坪タイプ、V-222・223 タイプは 1.5 坪タイプの浴室です。**
  ユニットバス以外は浴室温度が十分上昇しないことがあります。
  浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、天然石の壁や床、その他断熱が悪い場合、暖房・乾燥効果は減少します。
- **BZL タイプは２部屋または３部屋換気専用です。**
  １部屋（浴室のみ）では使用できません。
- **傾斜した天井には取付けないでください。**
  製品故障やモーター寿命が短くなる原因となります。
- **市販の圧力損失の大きな屋外フードは使用しないでください。当社製屋外フード（ステンレス製）のご使用をおすすめします。**
  風量低下や異常音発生の原因になります
- **排気ダクトは雨水の浸入、結露水の逆流を防ぐため屋外に向けて１／100 以上の傾斜をつけてください。**
- **排気ダクトの先端には、雨水や鳥などの侵入を防ぐための屋外フード（システム部材）などを取付けてください。**
- **本製品で住宅の全般換気を行う場合は居室の扉に通気措置（アンダーカットなど）が必要となります。**
- **有機溶剤やスプレーを使う場所には取付けないでください。**
  故障の原因となります。

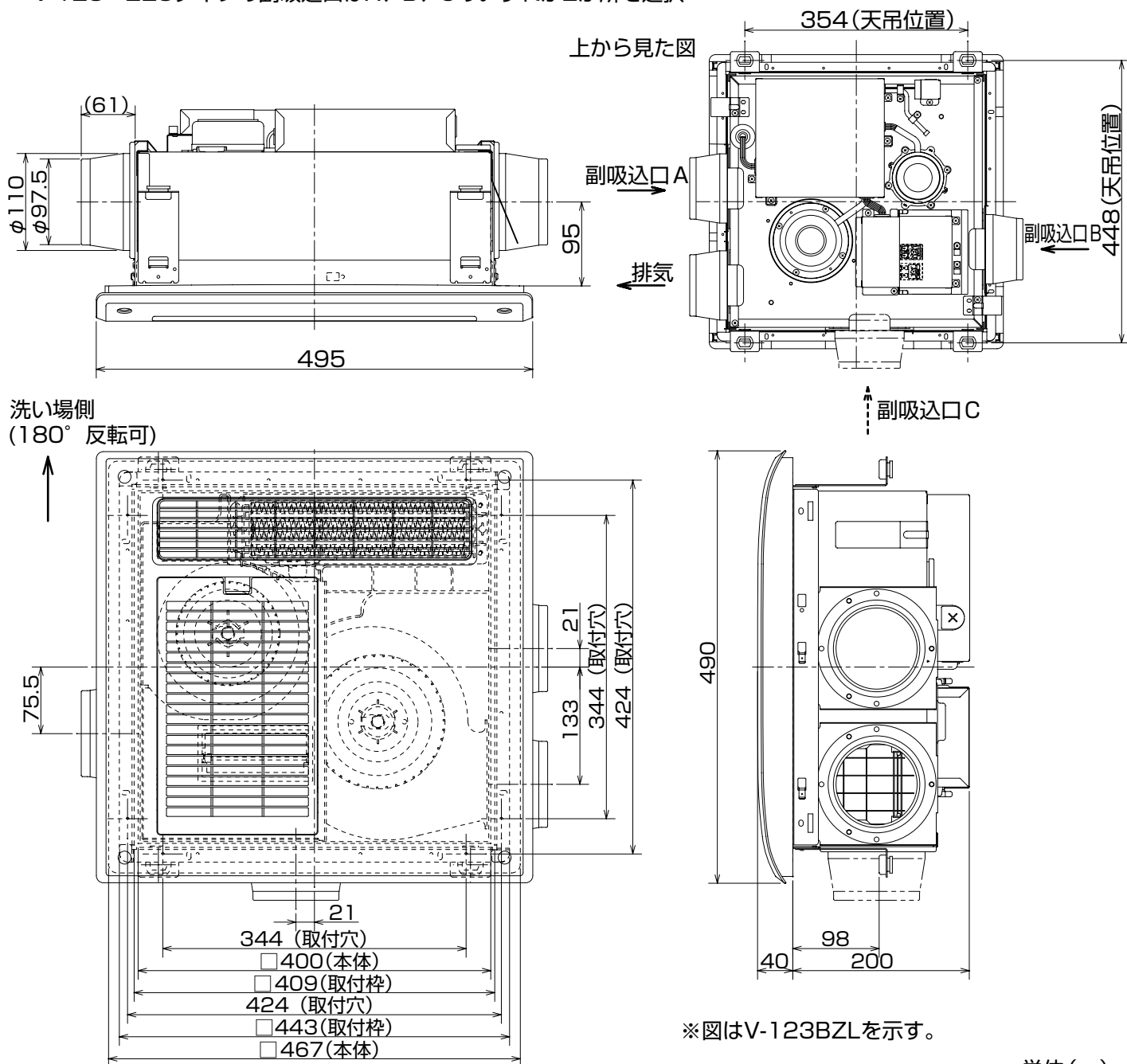
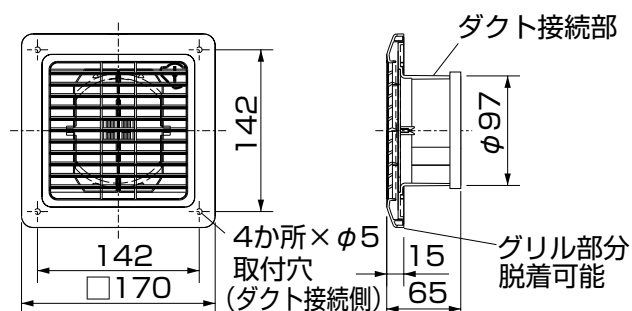
1.安全のために必ず守ること つづき

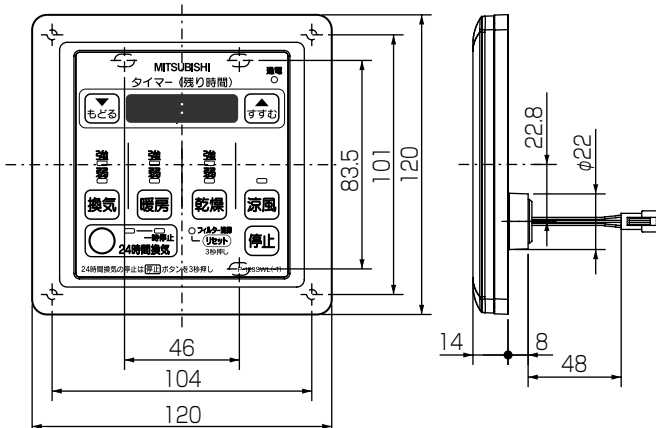
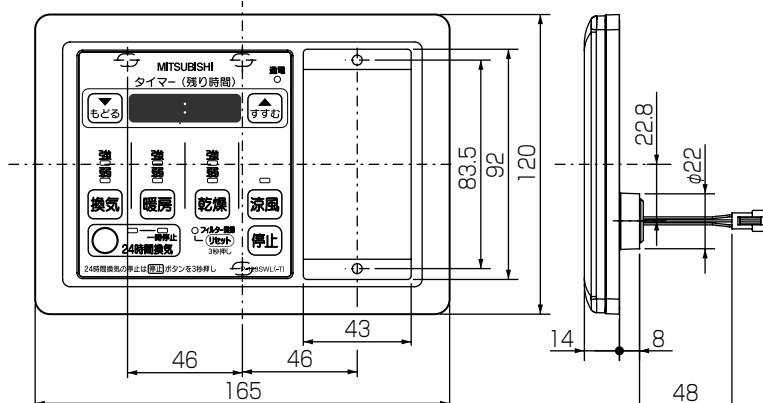
●次のようなダクト工事はしないでください。
風量低下や異常音発生の原因になります

製品の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。
地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。

●本製品は特定保守製品であり、後日点検が必要となります。点検を実施できるように設置時には下記点にご注意いただき設置願います。
- 点検口を製品の近くに設けてください。
- 電源配線やその他の配線（コントロールスイッチ等）の接合部分が壁の中にあったり、後日点検できない場所に配置されないようにしてください。
- 製品の設置場所は遮へい物等により点検口から製品が見えない、あるいは製品を点検修理できない場所には設置しないようにしてください。
- 製品の取付部には接着剤や両面テープ等、製品の取りはずしが困難になるようなものは使用しないでください。

排気ダクト
●不燃材料をご使用ください。
●専用としてください。ただし、同一の住戸内でトイレ・洗面所などの排気ダクトが不燃材料であれば接続できます。

グリルの周囲
●グリル下方100㎜未満の範囲には造営材等（乾燥させる洗濯物および吊下げ用パイプを含む）を設けないでください。

点検口
●本体の近くに本体の点検ができる点検口を設けてください。点検口を設けないと本体をはずすことができなくなります。

●本体および衣類吊下げ用パイプ（市販品）の設置は上図の寸法の位置に取付ける。
●本体は必ず天井板に浴室内から取付けてください。
（本体をおろしてメンテナンスできなくなります）
●電源ケーブル、コントロールスイッチ接続コードは本体がおろせるように約2mの余裕をもたせる。
（短いとメンテナンスができなくなります）
●吹出口を洗い場に向ける。
（乾燥・暖房の効果を上げます）
●給気口を設ける。
●コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードや本製品の電源ケーブルと別配線し、10mm以上離して配線してください。
（誤動作の原因になります）

2.各部のなまえと寸法（外形寸法図）　つづき

■コントロールスイッチ（別売）

■照明スイッチ（P-123SWL-Tとの組合せの場合）

照明スイッチは下記のスイッチをご使用ください。

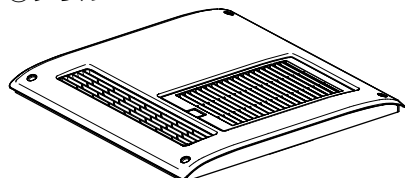
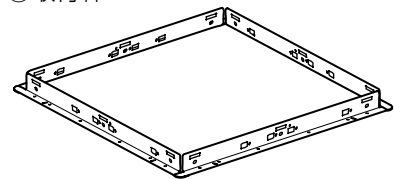
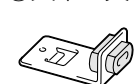
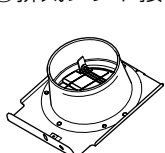
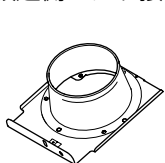
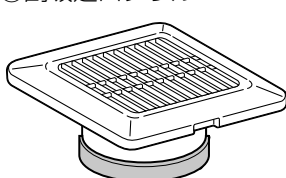
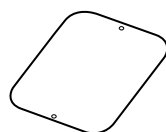
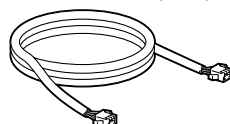
パナソニック電工製コスモシリーズワイド21

仕様	ハンドル形名	スイッチ形名	取付枠
1個用スイッチ　ほたる付（AC15A 100V）	WT3031W	WT5051（片切） WT5052（3路）	WT3700020
2個用スイッチ　ほたる付（AC15A 100V）	WT3032W		
3個用スイッチ　ほたる付（AC15A 100V）	WT3033W		

●照明スイッチをご使用にならない場合はブランクチップ（WT-6191Wパナソニック電工製）をご使用ください。

■付属品

No	名称	V-122・222タイプ	V-123・223タイプ
①	グリル（フィルター付）	1個	1個
②	取付枠	1個	1個
③	天吊金具	4個	4個
④	排気ダクト接続口（白いシャッター付）	1個	1個
⑤	副吸込側ダクト接続口	1個	2個
⑥	副吸込口グリル	1個	2個
⑦	カバープレート	2個	1個
⑧	コントロールスイッチ接続コード（5m）	1本	1本
⑨	4×25ドリルネジ（本体取付用、取付枠固定用）	14本	14本
⑩	4×6トラスタッピンネジ（カバープレート固定用、天吊金具固定用）	8本	8本
⑪	φ4.1×45木ネジ（副吸込口グリル取付用）	4個	8個
⑫	ネジカバー	4個	4個
⑬	取扱説明書	1冊	1冊
⑭	据付説明書	1冊	1冊

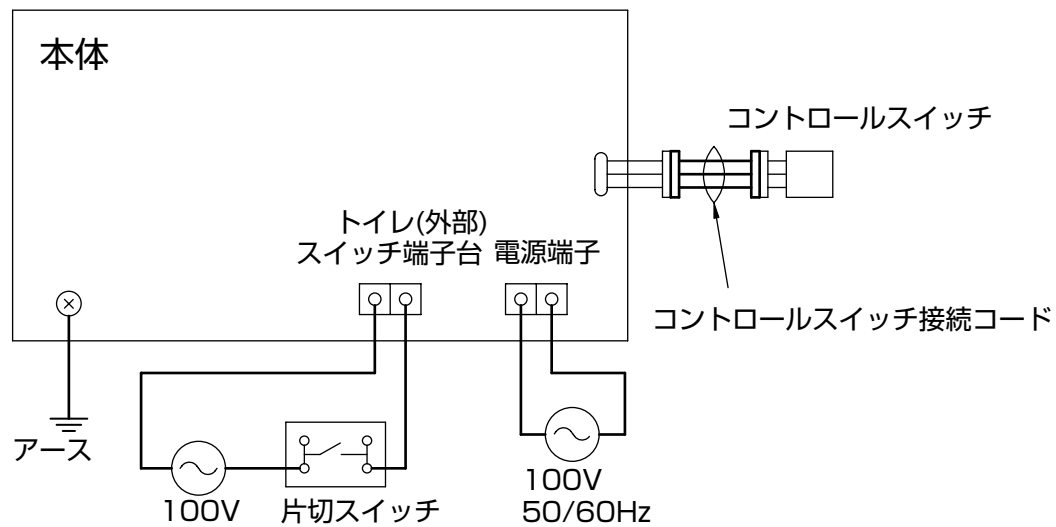
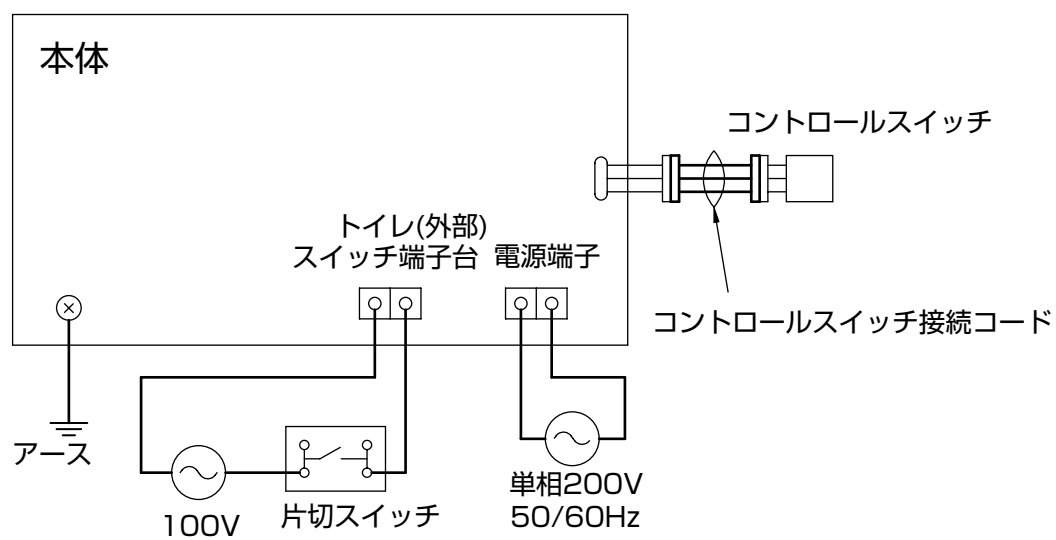
①グリル

②取付枠

③天吊金具

④排気ダクト接続口

⑤副吸込側ダクト接続口

⑥副吸込口グリル

⑦カバープレート

⑧コントロールスイッチ接続コード（5m）

⑨ドリルネジ

⑩トラスタッピンネジ

⑪木ネジ

⑫ネジカバー

■結線図

V-122BZ，V-123BZ，V-122BZL，V-123BZL，V-123BZL-HC

V-222BZL，V-223BZL

3. 取付方法

●本体の取付けは必ず天井板に浴室から固定し、配線は約2m余裕をもって行ってください。本体のメンテナンスができなくなります。

●本機は給気口を3方向から選択できます。排気口は1方向です。

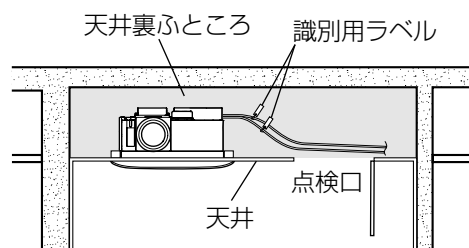
●浴室側と本体の向きを確かめ、正しく安全に取付けてください。

●電気工事は天井裏ふところが狭くなると、本体取付け後に配線が難しい場合があります。その場合はあらかじめ点検口付近まで配線しておくことをおすすめします。

●天井のたわみは2mm以下にしてください。天井のたわみが大きいとグリルが密着せず、すき間ができる場合があります。

1 取付け前の準備

お願い

- 天井裏ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に取付ける前に行ってください。
- 端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別用ラベルを付けてください。
- 点検口を設けないと本体をはずすことができなくなります。

1. 配線をする。

- ３芯のVVFケーブル（φ２㎜）（電源ケーブル、アース線）および付属のコントロールスイッチ接続コード（有効長約5m）を配線してください。
- コントロールスイッチ接続コードの長さがたりない場合には「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。
- 本体取付位置より約2mの余裕をもって配線してください。
- 電源ケーブルは専用の分岐ブレーカー（20A）より配線してください。
- 漏電しゃ断器を取付けてください。

お願い

- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードや本製品の電源ケーブルと10mm以上離して配線してください。（誤動作の原因になります）

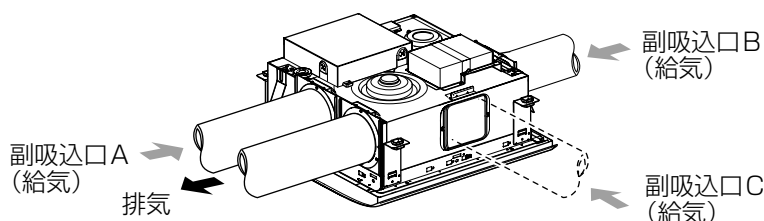
2. 取付位置・排気方向・副吸込方向を決める。

排気方向の確認

副吸込口B
（給気）

副吸込口A
（給気）

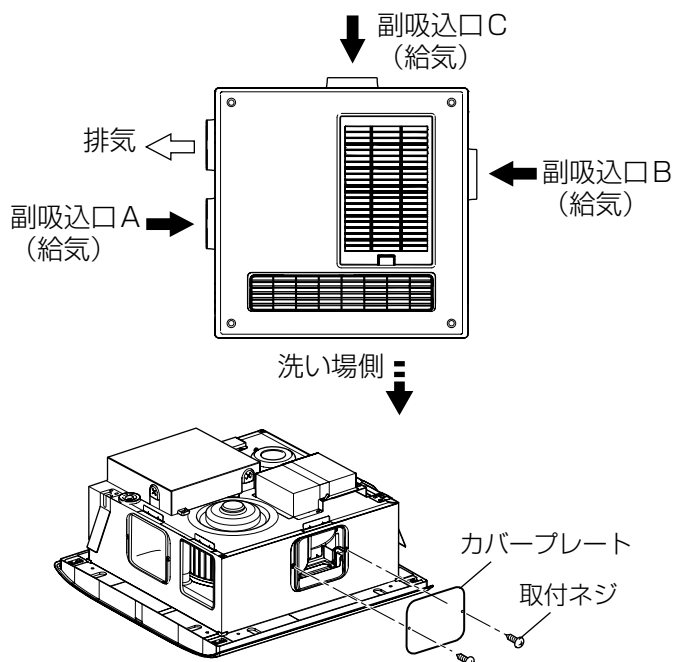
排気

副吸込口C
（給気）

副吸込ダクトの接続口を選択する

（1）副吸込側ダクト接続口は副吸込口（A・B・C）の3方向より選択できます。
- V-122・222タイプは1方向のみです。
- V-123・223タイプは2方向のみです。

お願い

- あらかじめ洗い場側、配管位置、排気方向を確認してください。

（2）使用しない副吸込口にカバープレートを取付ける。
※V-122・222タイプは2方向取付けます。

以下、V-122・222タイプは副吸込ダクトは1方向のみです。

排気ダクトの方向と副吸込ダクトの方向を確認し、取付方法を選択して取付枠を天井に取付けてください。

お願い

- BZLタイプの場合、機種に応じた数の副吸込口を使用してください。機種に応じた数の副吸込口を使用しないと、換気ファンの回転が上がり、大きな騒音や換気モーターの故障の原因となる場合があります。

3. 取付枠とダクト接続口を取付ける。 ※図は V-123BZL を示す。

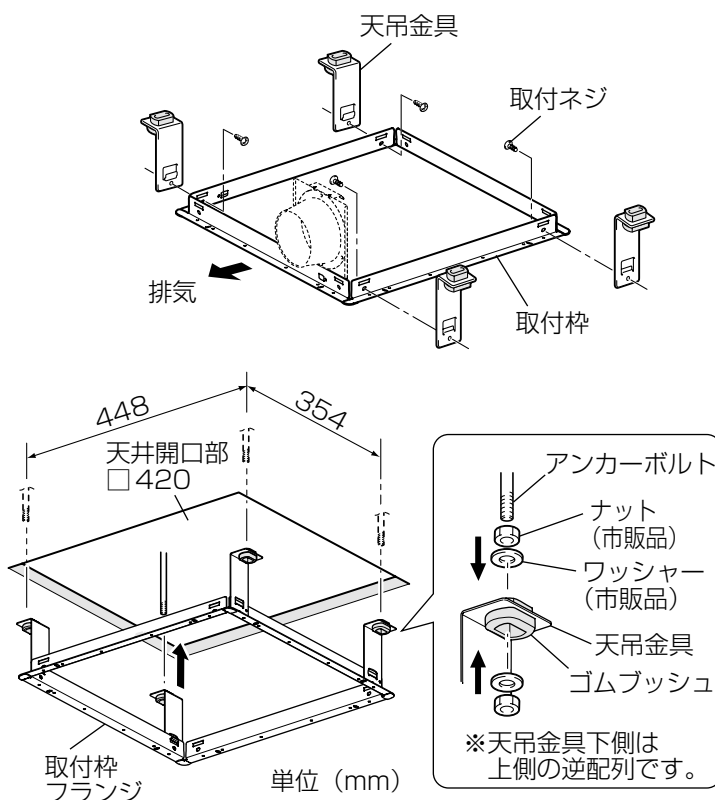
天吊取付けの場合

■ダクト接続方向の確認

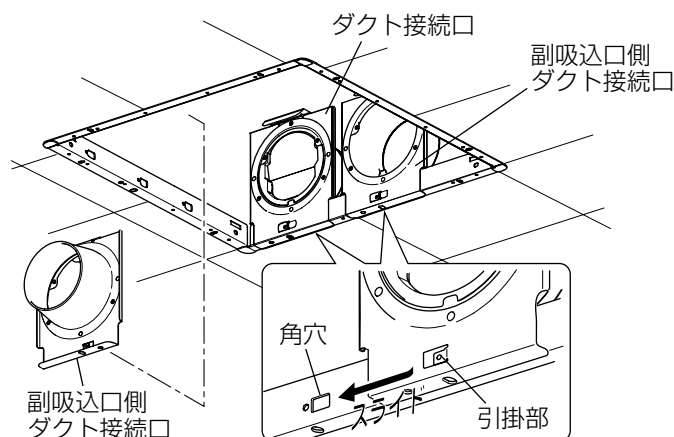
接続するダクトの配管方向は、排気方向は1方向、吸込方向は3方向から選択できます。配管の位置を確認して、天吊金具を取付枠に取付けます。

（1）右図を参照し、外形寸法図の天吊位置にあらかじめ市販のアンカーボルト（M8またはM10）を埋め込む。
（2）浴室の天井板に□420㎜の開口部を設ける。
（3）天吊金具を右図に従い取付枠に付属の取付ネジ（4×6 トラスタッピンネジ）で固定する。
（4）取付枠を浴室内から差し込み、天吊金具にアンカーボルトを通し、市販のワッシャー・ナットを使用して吊す。
（5）取付枠が天井板に密着するようにアンカーボルトに固定する。

お願い

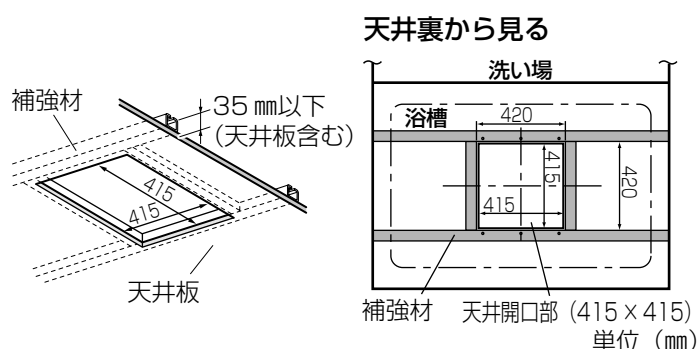
- 天吊金具を固定するナットをしっかりと締め、取付枠のフランジがしっかりと天井面に密着していることを確認してください。密着していない（ガタつく）場合はグリルと天井面のすき間の原因となります。
- すき間が発生した場合は、天井補強の野縁に取付枠を付属のネジ（4×25ドリルネジ 6本）で長穴6か所を固定してください。
- ナットがゆるまないように確実な処置で固定してください。
- 天井が歪まないよう十分補強を行って本体を取付けてください。

3. 取付方法 つづき

(6) 排気側のダクト接続口（白いシャッター付）を取付枠にはめ込み、ダクト接続口の引掛部を取付枠の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。

(7) 副吸込側ダクト接続口を取付枠にはめ込み、副吸込側ダクト接続口の引掛部を取付枠のあらかじめ選択した位置の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。

野縁取付けの場合

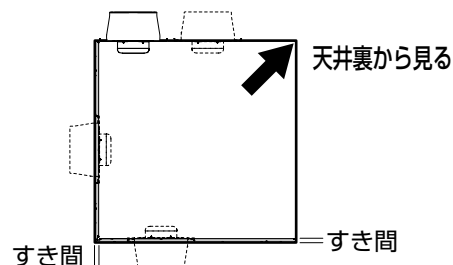
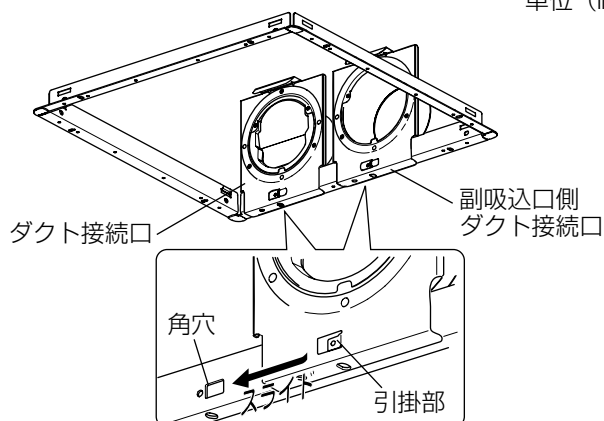
■ダクト接続方向の確認

接続するダクトの配管方向は。排気方向は 1 方向、吸込方向は 3 方向から選択できます。配管の位置を確認してダクト接続口を取付枠に取付けます。

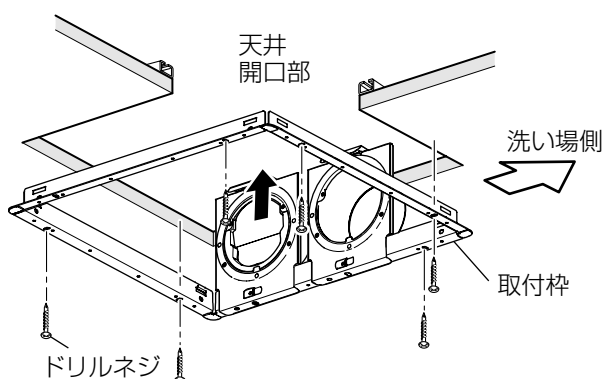
(1) 浴室の天井板に□415㎜の開口部を設ける。
- 内寸が右図の寸法となるように天井に補強材を設ける。
- 補強材は天井板を含めて **35㎜以下** としてください。（ダクト接続口が取付けられません）
- 補強材は天井にしっかりと固定してください。

お願い

- このバス乾燥・暖房・換気システムの質量は約10kg あります。
  本体の設置は十分強度が得られるよう、補強材を使用して確実に行ってください。
  落下により、けがをするおそれがあります。

(2) あらかじめ排気側のダクト接続口（白いシャッター付）を取付枠にはめ込み、ダクト接続口の引掛部を取付枠の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。
- 副吸込口Aを選択している場合は、同時に副吸込側ダクト接続口も固定します。

(3) 図のように取付枠を開口部の矢印方向に寄せて差し込み、他のダクト接続口が取付けられるようすき間をあけ、長穴6か所を使って付属のネジ（4×25ドリルネジ 6本）で固定する。

お願い

- すべてのドリルネジが野縁に締め込まれていることを確認してください。

(4) 副吸込側ダクト接続口を取付枠にはめ込み、副吸込側ダクト接続口の引掛部を取付枠のあらかじめ選択した位置の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。

2 本体の取付け ※図はV-123BZLを示す。（V-122・222タイプの場合は副吸込ダクトは1か所です）

⚠ 警告

- 本体はネジを使って確実に固定する
  落下によりけがの原因

1. ダクト工事を行う。

ダクトをそれぞれのダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピングする。

お願い

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ダクト接続口とダクトを接続する際に、ダクト接続口にネジ止めする場合は、シャッターの動きを妨げない位置へネジ止めしてください。

2. 本体を取付ける。

本体を開口部にそって差し込み、本体上面の立ち上がり部がダクト接続口の上側の引掛け部にはまり込むように本体を奥まで差し込み、ゆっくり手を離すと仮固定金具によって少し下がった位置で仮固定されます。

お願い

- 取付枠への本体挿入の際は、本体を天井面になるべく水平にして行ってください。
- 引掛け部に本体立ち上がり部が正しくはまっているか確認してください。
- 一度取付けたあとに本体を取りはずす場合は、仮固定金具（2か所）のネジ各1本をはずして仮固定金具をはずしてから本体を取りはずしてください。

3. 本体を固定する。

付属の取付ネジ（4×25ドリルネジ 8本）で本体をしっかり固定する。

お願い

- 排気側ダクト接続口および副吸込側ダクト接続口が本体に密着していることを確認してください。

4. 本体にグリルを取付ける。

ルーバー方向の変更

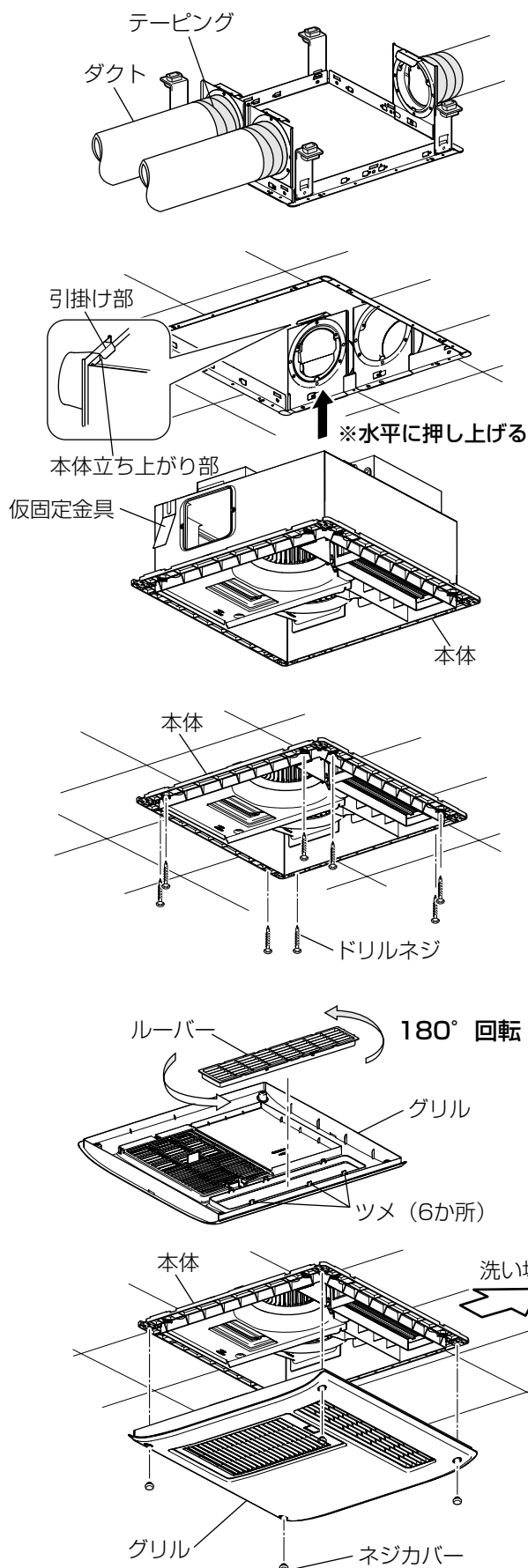
配管位置などの関係で、洗い場側が右図と反対方向にある場合は、ルーバーの取付方向を変更してください。
※温風が壁に向いていると、暖房・乾燥性能が悪くなります。

- ルーバーをグリルのツメからはずし、180°回転させて元通りグリルのツメに引掛ける。

本体取付ネジ穴にグリルのネジ部を合わせ、4か所をネジで固定する。（ネジはあらかじめグリルに付いています）
※ 180度反転取付けの場合、暖房・乾燥性能がおちる場合があります。

お願い

- 工具の先端でグリル表面を傷つけないようにしてください。
- ルーバー方向を変更した場合は、必ず衣類吊下げ用パイプの取付位置を変更してください。（15ページ参照）

5. グリルにネジカバー（4か所）を取付ける。

3. 取付方法 つづき

❸ 副吸込口グリルの取付け

1. ダクト（不燃材）を天井板の吸込口まで配管する。
   - ●ダクトは天井板から出ないようにしてください。
2. 天井板を張り、取付位置にφ100㎜の開口部を開ける。
3. グリルの両側の手掛け部を持ってグリル取付枠をはずす。
4. グリル取付枠をダクトに差し込み、付属の木ネジ（φ 4.1 × 45 木ネジ 4 本）で天井板に固定する。
   - ●石こうボードに直取付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。

お願い

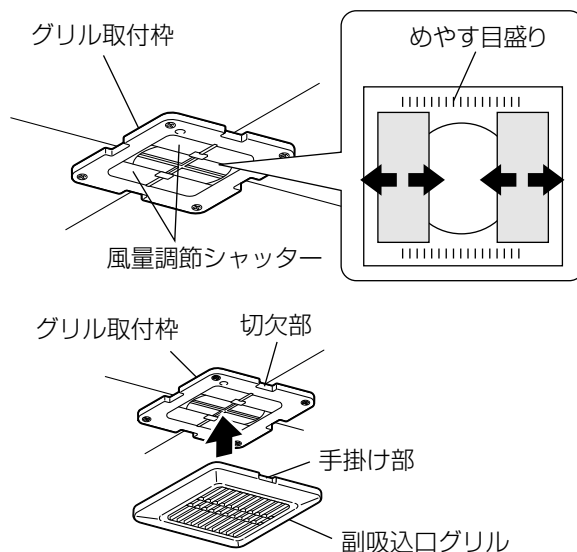
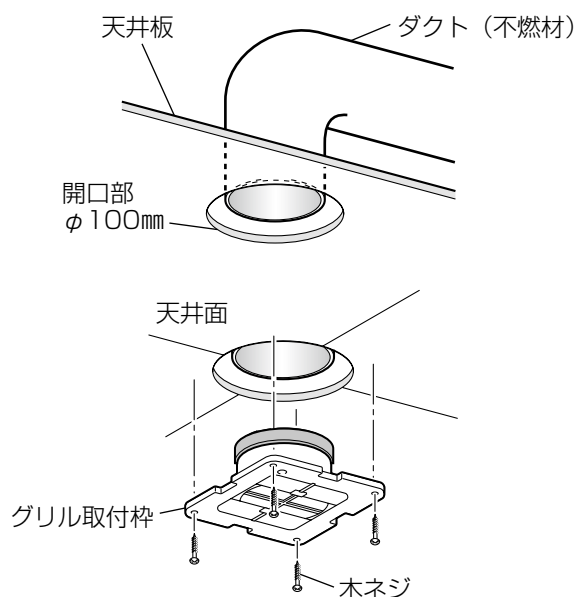
グリルと天井板とのすき間防止のため、次のように取付けてください。

- ●石こうボード用アンカーを使用する場合は、必ずグリル取付枠のネジ穴からはずれないよう確実に取付けてください。
- ●グリル取付枠は必ず天井板との間にすき間がないように確実に取付けてください。

5. 必要に応じて風量調節シャッターにより開口面積を調整する。（目盛りを目安に開口面積を決めます）
   ※通常は全開（100%）とします。

お願い

- ●本体側の風量設定を確認して副吸込口グリルの風量を調整してください。
- ●風量調節シャッターは全閉にはしないでください。

6. グリルの手掛け部とグリル取付枠の切欠部を合わせてはめ込む。

4 電気工事

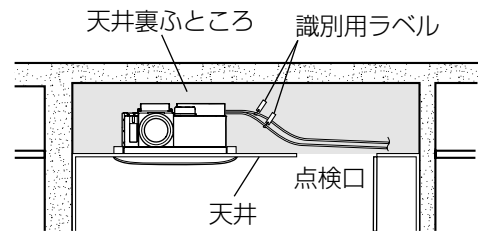
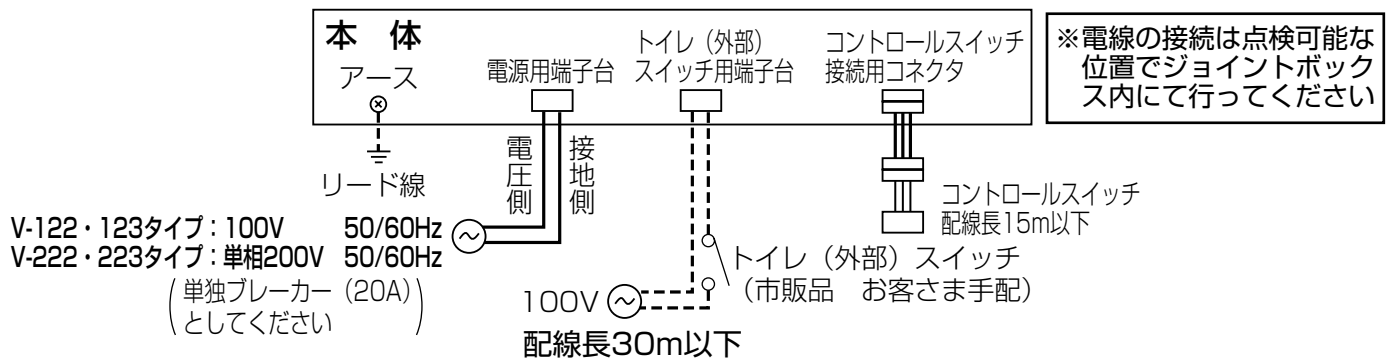
⚠警告

- V-122・123 タイプ：100V を使用する
  V-222・223 タイプ：単相 200V を使用する
  間違った電源を使用すると火災や感電の原因

⚠注意

- コントロールスイッチを浴室内に設けない
  故障の原因
- 電源電線の接続は確実に行う
  接続部が過熱して発火する原因
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う
  接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因

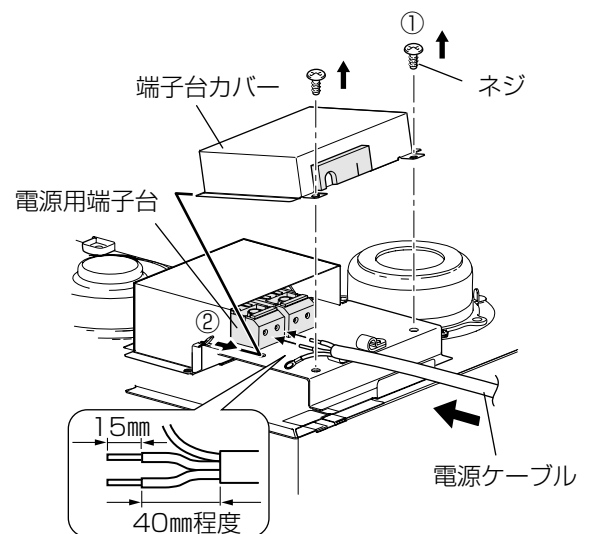
お願い

- 天井裏ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に取付ける前に行ってください。
- 端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別用ラベルを付けてください。

■**結線図**……太線部分を結線してください。コードは約 2m の余裕をもって配線してください。

1.端子台カバーを取りはずす。

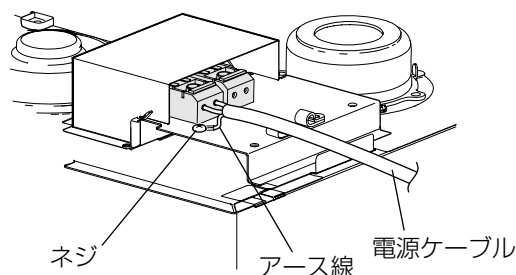
ネジ2本をはずし（①）、手前に引きながら端子台カバーをはずす。（②）

2.「電源用端子台」へ接続する。

本体の「電源用端子台」に電源ケーブル（VVFケーブル φ2㎜）の芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込む。

- ケーブル先端の皮むき寸法は 15㎜ です。
- ケーブル外皮は 40㎜程度 むいておいてください。
- 電源ケーブルを抜く場合は、端子台の白いボタンをマイナスドライバーの先で押しながら電源ケーブルを引いてください。

形　　名	電　源
V-122・123タイプ	100V
V-222・223タイプ	単相200V

3.アース工事を行う。

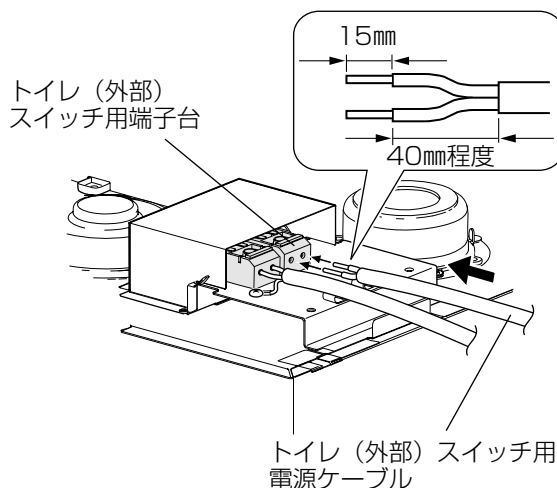
（1）本体のアース端子（ネジ）にアース線を接続して必ずD種接地工事(アース工事)を行う。
（2）アース線をアースに接地する。

トイレ（外部）スイッチを使用する場合

4.必要に応じて、トイレ（外部）スイッチの接続を行う。

本体の「トイレ（外部）スイッチ用端子台」に 100V の電源を接続用ケーブル（VVFケーブルφ1.6㎜またはφ2㎜）の芯線が見えなくなるまで差し込む。

- リード線の皮むき寸法は **15㎜** です。
- ケーブル外皮は **40㎜程度** むいておいてください。

トイレ（外部）スイッチは、本体停止時や運転中にトイレなどから本体換気ファンを運転させたり換気の風量を大きくするためのスイッチです。

本体にてトイレ（外部）スイッチの遅延時間設定が可能です。
「4.試運転」を参照し、設定してください。

■トイレ（外部）スイッチは下記仕様のスイッチを使用してください。

- **トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない**
  トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

表示なしスイッチの場合
一般的な片切／3路スイッチ（単相100V～300V）が使用できます。

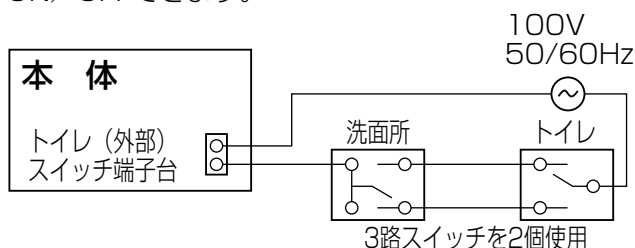
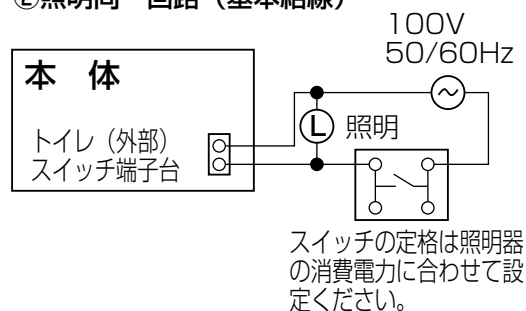
パイロットランプ付（オンピカタイプ）の場合
定格0.5A-100V～0.5A-300V(低負荷用)のスイッチを使用してください。

■外部結線例

①2か所ON／OFF（階段スイッチ）
※任意の方向にスイッチを倒すと外部スイッチをON／OFFできます。

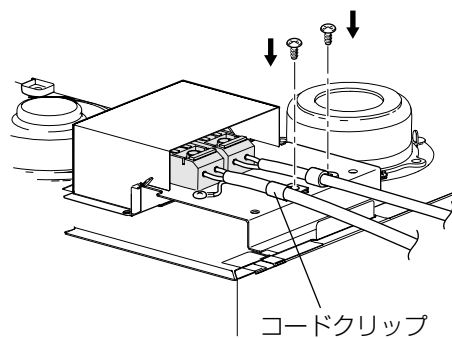
②照明同一回路（基本結線）

本　体
トイレ（外部）
スイッチ端子台
100V
50/60Hz
照明

スイッチの定格は照明器の消費電力に合わせて設定ください。

お願い

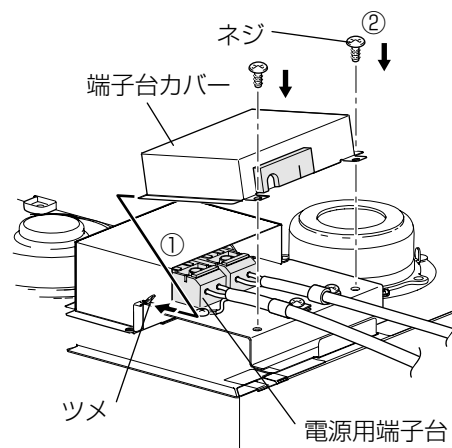
- 結線を間違えないでください。
  （本体が動作しないか、本体基板が故障します）

5.ケーブルを固定する。

コードクリップにて図の通りにケーブルを固定する。

6.端子台カバーを取付ける。

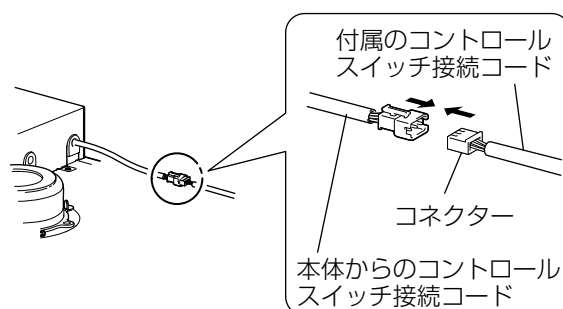
端子台カバーの両側面の引掛部を本体のツメに差し込み（①）、ネジ2本で固定する（②）。

お願い

- ケーブルが端子台カバーに沿うように形を整えてください。
  （端子台カバーが固定しやすくなります）
- 端子台カバーでケーブルをはさまないようにしてください。

7.本体とコントロールスイッチ接続コードを接続する。

付属のコントロールスイッチ接続コードを本体からのコントロールスイッチ接続コードと接続する。

お願い

- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

3. 取付方法 つづき

5 コントロールスイッチの取付け

■取付け前の準備

●準備するネジ
スイッチボックスに取付ける場合 ：M4×20皿ネジ（標準タイプ：3本、照明タイプ：5本）
壁に直接取付ける場合 ：φ3㎜×20木ネジ（4本）
※ネジの長さは一般的な例です。壁の厚さに応じて選定してください。

●コントロールスイッチ接続コード（本体同梱部品、有効長約5m）を準備してください。

●コントロールスイッチ接続コードの長さが足りない場合は「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。

●本体側に約2m余裕をもって配線してください。

●コントロールスイッチは、本体の運転確認がしやすい場所に取付けてください。

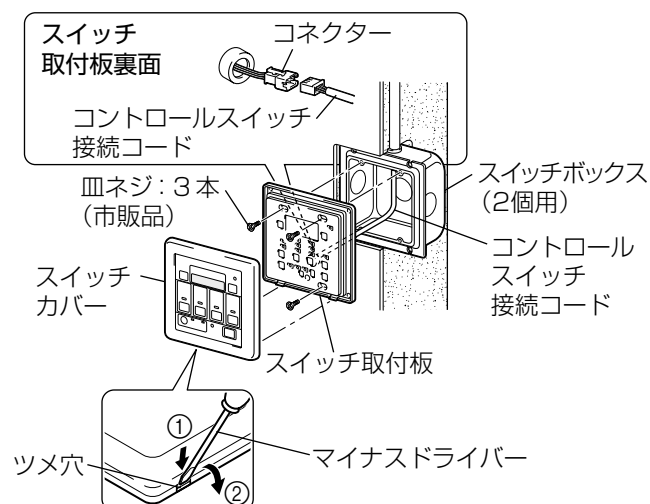
お願い

- コントロールスイッチ接続コードは 15m 以上に延長しないでください。誤動作の原因になります。
- 結露しやすい壁には取付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

■2 個用スイッチボックスに取付ける場合（標準タイプ）＊1 個用スイッチボックスには取付けられません。

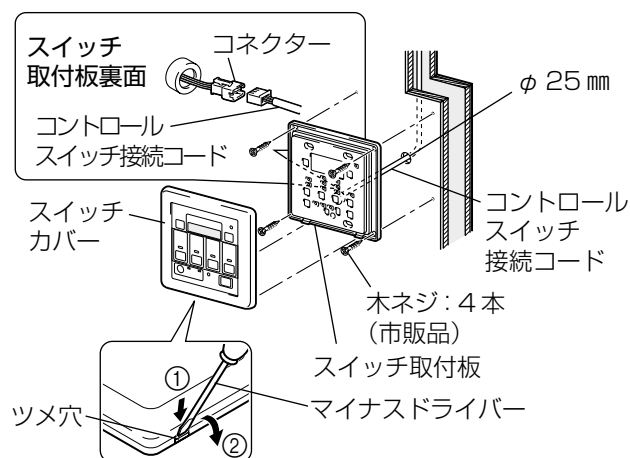
1. 壁に市販の2個用スイッチボックスを埋め込み、コントロールスイッチ接続コードを配線する。
2. スイッチカバー下部のツメ穴にマイナスドライバーを差し込み、スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。
3. スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続し、市販の皿ネジ（3本）でスイッチボックスに固定する。
4. スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。

お願い

- ネジを締めすぎないでください。スイッチ固定板の角が浮いたりネジ穴部が割れるおそれがあります。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

■壁に直接取付ける場合

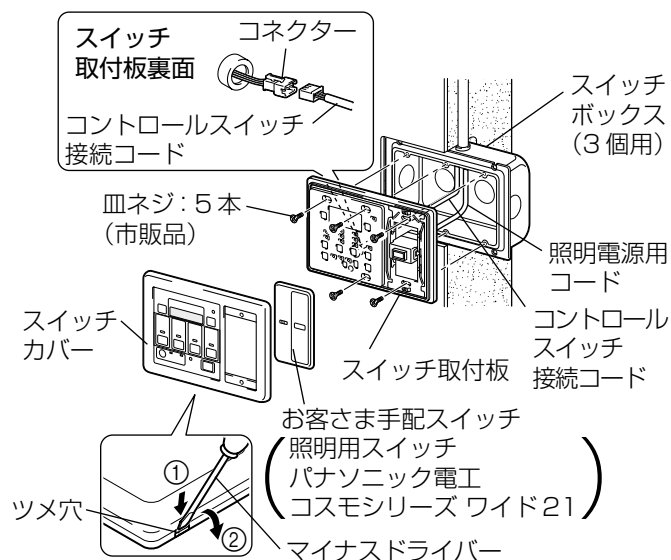
1. 壁にφ25㎜の穴をあけ、コントロールスイッチ接続コードを配線する。
2. スイッチカバー下部のツメ穴にマイナスドライバーを差し込み、スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。
3. スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続し、市販の木ネジ（4本）で壁に固定する。
4. スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。

お願い

- コントロールスイッチ接続コードがかみこまないように配線してください。
- コントロールスイッチは必ず平面な壁に取付けてください。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

■３個用スイッチボックスに取付ける場合（照明タイプ）

1. 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、コントロールスイッチ接続コードと照明用の電源コードを配線する。
2. スイッチカバー下部のツメ穴にマイナスドライバーを差し込み、スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。
3. スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続する。
4. お客さま手配の照明用スイッチを説明書に従い結線し、市販の皿ネジ（5本）でスイッチボックスに取付ける。
   - ●照明用スイッチについては照明タイプコントロールスイッチの外形寸法を参照してください。
5. スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。

お願い

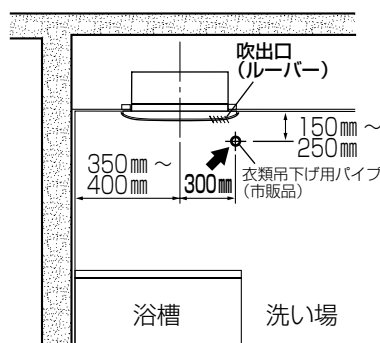
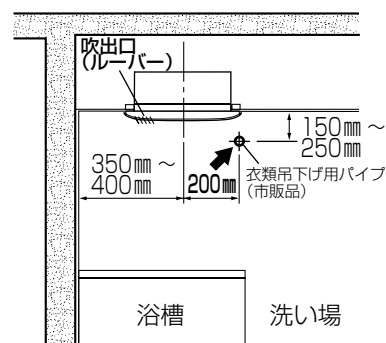
- ●コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードと別配線とし、10㎜以上離して配線してください。誤動作の原因になります。
- ●ネジを締めすぎないでください。スイッチ固定板の角が浮いたりネジ穴部が割れるおそれがあります。
- ●コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

6 衣類吊下げ用パイプの取付け

右図の位置に市販のパイプを取付ける。

お願い

- ●パイプを購入されるときは必ず１本当り４㎏以上の荷重に耐える、耐食性および不燃性のものを購入してください。
- ●パイプの取付位置は右図を基準として取付けてください。（基準の寸法以外で取付けると乾燥時間が長くなります）

ルーバーが洗い場側の場合

吹出口
（ルーバー）
150㎜～
250㎜
350㎜～
400㎜
200㎜
衣類吊下げ用パイプ
（市販品）
浴槽
洗い場

ルーバーが洗い場と反対側の場合

4. 試運転

試運転手順（風量設定等）

1. 電気工事の確認
2. 試運転前の確認
3. 電源を入れる（ブレーカーを入れる）
4. 初期設定の変更・確認
5. 風量調整運転（BZLタイプのみ）
6. 24時間換気運転の確認／換気・涼風運転の確認／暖房・乾燥運転の確認
7. ダンパー動作とトイレ（外部）スイッチ操作確認（BZLタイプのみ）
8. 電源を切る

試運転終了

換気補正時間に約５分かかります

試運転前に…	試運転の前にもう一度電源線の接続を十分確認のうえ、分電盤のブレーカーを入れて試運転を行ってください。

あらかじめ「トイレ（外部）スイッチ」は「切」の状態にしておいてください。

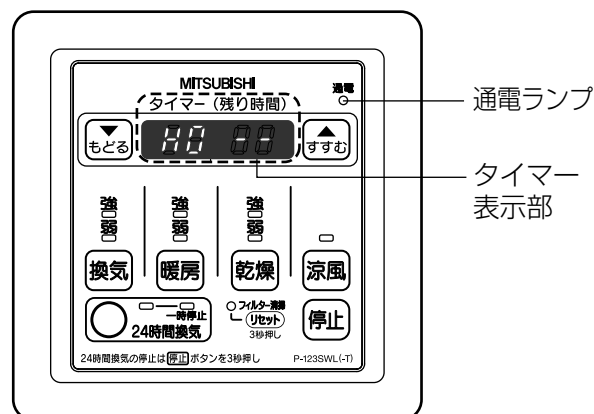
1　電気工事の確認

- 電気工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認してください。
- ダクト工事についてもあらためて確認してください。

2　試運転前の確認

- 浴室のドアや窓は、必ず閉めてから試運転を行ってください。
  閉めないと誤判定の原因になります。

3　電源を入れる（ブレーカーを入れる）

取付け後初めて電源を入れると、約 15 秒間タイマー表示部が右図のように点滅します。
※点滅中はどのボタンを押しても反応しません。
- コントロールスイッチの通電ランプが点灯します。

4　初期設定の変更・確認

V-122BZ・V-123BZの場合

●24時間換気中は 停止 を3秒以上押し、本体を停止させてから行ってください。

※上記以外の表示となった場合は 停止 を押し、はじめからやり直してください。

4. 試運転　つづき

V-122BZL・V-123BZL・V-123BZL-HC・V-222BZL・V-223BZL・の場合

●24時間換気中は 停止 を3秒以上押し、本体を停止させてから行ってください。

※上記以外の表示となった場合は 停止 を押し、はじめからやり直してください。

5　風量調整運転（BZL タイプのみ）

24 時間換気ボタンを押した後、本機が自動的に約 5 分間換気ファンの風量調整運転を行う

ダクト配管などの圧損状態を確認するため、約 5 分間（弱運転→強運転）換気ファンの風量調整運転を行います。
この間他の運転に切り換えられますと風量調整が正しく行われない、あるいは調整時間が長くなることがあります。
※ブレーカーを落とされた後（あるいは停電復帰後）、最初の運転時につきましても約 5 分間換気ファンの風量調整運転を行います。
※風量調整運転中に他の運転に切り換えてしまった場合、下記操作を行って換気ファンの風量調整運転を行ってください。
1）一旦ブレーカーを OFF にした後、再度 ON する。
※ブレーカーを OFF する場合は、コントロールスイッチの通電 LED が完全に消えたことを確認してください。
2）運転初期状態となった後（表示部の HO -- が消えた後）24 時間換気ボタンを押し、風量調整運転を実施。
ダクト配管などの圧損状態を確保するため、約 5 分間（弱運転→強運転）換気ファンの風量調整運転を行います。

6　運転の確認

取扱説明書に従い「24 時間換気」「換気」「暖房」「乾燥」「涼風」が正常に運転するか確認する

	操　作	コントロールスイッチ	☑	内容
24時間換気	① 24時間換気／一時停止 ボタンを押す	一時停止　ランプが点灯する	□	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。（吸込口には手を入れない）
	②もう一度 24時間換気／一時停止 ボタンを押す	一時停止　ランプが点灯する	□	ダンパーが閉じていることを確認する。※BZLタイプのみ
換　気	換気 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	強 ⟷ 弱	□	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。（吸込口には手を入れない）
暖　房	暖房 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	強 ⟷ 弱	□	本体吹出口から温風が出ていることを確認する。（吹出口には手を入れない）
乾　燥	乾燥 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	強 ⟷ 弱	□	本体吹出口から温風が出ていることを確認する。（吹出口には手を入れない）
涼　風	涼風 ボタンを押す		□	本体吹出口から風が出ていることを確認する。（吹出口には手を入れない）

※停止後にはじめて換気・暖房・乾燥・涼風運転を行うときは、自動的に24時間換気運転を開始します。
24 時間換気運転以外の運転を確認する場合は、停止ボタンを 3 秒以上押し、24時間換気運転を停止してください。
※換気ファンは、常に一定の風量で換気するために換気ファンの回転数を自動制御しています。（BZLタイプのみ）

7　ダンパー動作とトイレ（外部）スイッチの操作確認（BZLタイプのみ）

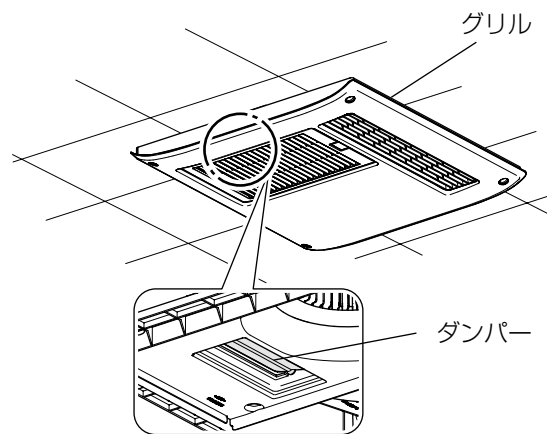
本体ダンパーの動作確認

24時間換気運転中にもう一度24時間換気ボタンを押す。

表示ランプの右側が点灯し、浴室のダンパーを閉じて浴室のみ換気しないようにできます。

メモ

・浴室換気の停止中は本体のダンパーが閉じます。（微弱換気ありの場合は、約20°ほどダンパー開となります）

・ダンパー開閉の状態は、フィルター枠を開けば確認できます。

トイレ（外部）スイッチの操作確認

■トイレ（外部）スイッチを入れたときのダンパー開閉

運転内容	トイレ（外部）スイッチ切	トイレ（外部）スイッチ入
24時間換気	ダンパー開※1 ○	ダンパー閉※2 ●
換気	ダンパー開　○	ダンパー開　○
暖房	ダンパー閉※2 ●	ダンパー閉※2 ●
乾燥	ダンパー開　○	ダンパー開　○
涼風	ダンパー開　○	ダンパー開　○

※1 24時間運転で「一時停止」をしている場合はダンパーは閉じた状態です。

※2 微弱換気ありの場合は、約20°ほどダンパー開となります。

■トイレまたは洗面所にトイレ（外部）スイッチを設置した場合、トイレ（外部）スイッチを入れると浴室のダンパーを閉じて換気運転を行います。

5. 異常表示

●コントロールスイッチのタイマー表示部にこのような表示が出ているときは、表示内容をメモして処置内容をご確認ください。

表示内容	原因・処置	
E- 00 （00～09）	制御回路および本体の動作異常です	電源ブレーカーを切ってお買上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください
E- 40	電源に定格電圧以外が接続されています	電圧を確認してください V-122・123タイプ：100V V-222・223タイプ：単相200V
BZLタイプのみ E- 41	換気ファンが停止しています	電源ブレーカーを切ってお買上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください
E- 42	ヒーター回路の異常です	
E- 54	吸込み温度センサーの異常です（はずれ、断線など）	お買上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください
E- 68	本体とコントロールスイッチの通信が正常に行われていません	コントロールスイッチ接続コードが正しく接続されているか確認してください

上記以外の表示	ブレーカーを切ってお買上げの販売事業者・据付事業者へご連絡ください

■停電復帰時

停電復帰したときは、コントロールスイッチは約15秒間下図のように点滅します。
点滅中は動作しません。

H0 - -